

<令和3年度日本水産学会九州支部例会>

## 地域を拠点とした養殖研究の新展開

日時・場所：令和3年9月4日（土） 12:50-17:00 九州大学農学部内 + zoom にて開催

企画責任者：太田耕平・杣本智軌・島崎洋平（九大院農）

12:50-12:55 開会の挨拶 大嶋雄治（九大院農）

12:55-13:05 趣旨説明 太田耕平（九大院農）

座長： 杣本智軌（九大院農）

13:05-13:35 1. 産学官連携による完全養殖マサバ（唐津Qサバ）の地域ブランド化  
長野直樹（宮崎大農）

13:35-14:05 2. IT養殖による魚類生産の高度化  
梅田脩平（ウミトロン（株））・村山孝行（唐津市）

14:05-14:35 3. ゲノム編集によるマサバの育種  
大賀浩史（九大院農）

14:35-15:05 4. Application of germ cell in marine fish aquaculture  
Chakraborty Tapas（九大院農）

15:05-15:20 休憩  
座長： 島崎洋平（九大院農）

15:20-15:50 5. 有害プランクトンの遺伝子情報を利用した赤潮モニタリングシステム  
清水園子（愛媛大南水研）

15:50-16:20 6. 未利用餌資源を活用した介類養殖の可能性  
栗田喜久（九大院農）

16:20-16:35 7. 九州大学農学研究院附属アクアバイオリソース創出センターの紹介  
松山倫也（九大院農）

16:35-16:55 全体質疑・総合討論 座長： 太田耕平（九大院農）

16:55-17:00 閉会の挨拶 鬼倉徳雄（九大院農）